

Beyond コロナ時代の新たな観光キャンパス

石垣島
八重山

観光の未来を考える日

コロナ禍を越えて「観光が持つ力」や「観光による価値創造」を考えるキャンパス（学びの場）と位置づけ、「観光の未来を考える日」を開催します。観光に関する多様な講演プログラムと沖縄県及び石垣市が導入を検討する宿泊税の必要性や使い道についてのパネルディスカッションで構成します。観光事業者・来訪者・地域（住民）が観光による恩恵や幸福度を持続的に高めていく観光まちづくりについて一緒に考え、学びませんか？ 多くのご来場をお待ちいたします！



1日学び過ごせる観光学キャンパス！

令和6年 2月 21日（水）

開場 10時～17時15分終了（予定）

※関心のある講演プログラム（全部、一部を任意に選択）に対して、入退場は自由。

石垣市民会館大ホール **入場無料**

石垣市観光文化課
YouTubeにて
後日、オンライン配信



講演

1 限目

10:30～(60分)



『ポストコロナの観光潮流』

航空・旅行アナリスト
鳥海 高太郎

2 限目

11:35～(30分)



『ツーリストシップ（旅行者の心得）から持続可能な観光を築く』

（一社）ツーリストシップ
代表理事
田中 千恵子

3 限目

13:30～(60分)



『自主財源論』

（公財）日本交通公社
理事・観光研究部長
山田 雄一

5 限目

15:50～(20分)



『未来につなぐ持続可能な観光』

八重山商工高等学校
マーケティングリサーチ部

6 限目

16:15～(60分)



『観光地方都市における公共交通の未来展望』

（一社）沖縄オープンラボラトリ
理事
山崎 里仁

4 限目

14:40～15:40(60分)

パネルディスカッション

『持続可能な観光を担保する観光財源とその使途及びガバナンス』

ファシリテーター 山田 雄一

◆ パネリスト



山田 桂一郎
（JTIC、SWISS 代表
／VVB有識者）



下地 芳郎
（沖縄観光コンベンション
ビューロー 会長）



高橋 秀明
（石垣シーサイド
ホテル）



赤城 陽子
（石垣島ビーチホテル
サンシャイン）



仲里 一也
（イルマール
ウナリザキ）



綿貫 周平
（八重山ビジターズ
ビューロー）

12:05～13:25
～昼休み・休憩～

石垣島
初上陸

- ▶ 旅先クイズブース
- ▶ 来場者をつくる“観光”アート
- ▶ 飲食営業あり



主催：石垣市・一般社団法人 八重山ビジターズビューロー

共催：一般社団法人 石垣市観光交流協会・石垣市商工会・公益財団法人 日本交通公社 後援：一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー

お問い合わせ先：石垣市観光文化課 0980-82-1535 内容等が予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。